

7 審査結果の意見・講評

令和6年度下水道事業会計の審査の結果、会計処理や決算事務について、一部に誤りが見られ、決算書や決算付属書類の修正を求めた。誤りには、転記ミスや記載漏れが散見され、その原因は、職員の確認不足・認識不足や組織的な確認不足があったためとしている。決算書類は、1年間の活動状況と経営成績、財政状況を示す書類として、調製後には議会の認定に付される重要な書類である。組織として事務の適正さを確保するため、職員研修の充実と確認体制の強化を図られたい。

(1) 事業概要

下水道事業は、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資することを目的として、生活排水などを処理する污水事業と、市街地に降った雨水を河川に排水するための雨水事業を実施している。

本年度は、污水事業として、計画的に未普及地域への污水管渠布設工事を実施するとともに、中央・南部浄化センターや中継ポンプ場の設備更新、長門石橋の污水圧送管の布設替などの老朽化対策や、人孔の耐震補強工事にも取り組んだ。

また、雨水事業として、筒川の底版工や護岸嵩上げ工事、雨水幹線の整備工事やゲートポンプ設置、篠山排水ポンプ場の整備工事などの浸水対策を実施している。

(2) 経営成績及び財政状態

収益的収支では、総収益、総費用ともに前年度に比べ増加しているが、総費用の増加が総収益の増加を上回ったため、当年度純利益は前年度に比べ28.6%減少した。また、経常収支比率は、107.6%で健全経営の水準である100%を上回っているものの、減価償却費や委託料の増加により前年度と比べ△4.1ポイントと大きく低下している。なお、本業の経営成績を表す営業収支比率は、前年度比△1.5ポイントの78.3%であった。

資本的収支では、多額の企業債借入れを行っているものの、収入が支出に対して不足しており、消費税資本的収支調整額や減債積立金の取崩しのほか、内部留保している資金で補填している状況で、資金的に厳しい経営が続いている。

本年度は、企業債の償還額が借入額を若干上回ったため、本年度末の未償還残高は、720億4,563万円と前年度末と比べると920万円の減少となった。また、使用料収入と企業債残高の関係を示す指標の企業債残高対事業規模比率は、1,048.9%^(注)となっており、前年度の1,191.1%と比べると改善している。しかし、前年度の全国平均は593.3%であり、比較すると597.8ポイント高く、2倍超の数値となっていたことから、本市の企業債未償還残高が、依然として極めて多い状況にある。

(3) 意見・講評

下水道事業は、令和5年度に下水道未普及地域の整備計画の見直しと、令和6年度に下水道使用料の条例改正を行い、経営の健全化に向けて取り組まれている。本年度は、建設改良事業が減少したことに伴い、企業債の借り入れが減少し、その結果、8年ぶりに企業債の未償還残高が減少に転じている。

一般会計からの繰入金は、前年度同額の 15 億 6,700 万円であった。内訳をみると、雨水処理にかかる費用に対して約 1 億円増加して充当したため、分流式下水道等にかかる経費に対する繰入れが、その分減少している。本来は、雨水処理にかかる費用は、全額を公費（一般会計繰入金）で負担すべきであり、定額の繰入金の中で充当金額を調整するようなものではなく、適正な積算に基づき額を決めるべきである。

こうした中、令和 7 年度予算からは、一般会計繰入金の増額や下水道使用料の改定見直しによる増収が見込まれている。しかし、資金面では一時的に改善するものの、近年の多額な企業債の借入れによる今後の企業債償還額が増加することが見込まれていることから、短期間で経営の健全化が図られるわけではなく、厳しい状況には変わらない。

今後も、一般会計繰入金の積算のあり方について、財政部局と継続的に協議を行うとともに、議会とも危機感を共有し、収入に見合った整備を計画的に行うなど、経営改善に取り組まれない。

また、下水道管の破損に起因する道路陥没が全国で発生しており、管路の劣化や老朽化による損傷が問題となっている。本市においても過去に、東櫛原町や宮ノ陣で下水道管破損による道路陥没事故が発生している。1 月に発生した埼玉県事故を受けて、本市では緊急点検を実施したと聞いているが、市民の不安を払拭させるためにも、広報を含めて万全の対策を取られたい。地中埋設管の状況把握は容易ではないと思われるが、ドローンや A I といった D X 技術を活用しながら、安全点検の実施と適切な維持管理に取り組まれない。

（注）企業債残高対事業規模比率（％）の算出方法は、

$$（企業債残高 - 一般会計負担額） \div （営業収益 - 受託工事収益 - 雨水処理負担金） \times 100$$
 である。